

琴海地区防災行政無線個別受信機の撤去に反対する請願

平成29年11月30日

長崎市議会議長 野口達也様

請願人

住所 長崎市長浦町1,057番地

氏名 琴海地区連合自治会

会長 濱田 壽

連絡先 電話

携帯



1、請願の趣旨

琴海地区においては、昭和57年7月23日の「長崎大水害」の時、長浦岳で1時間降雨量153m/mの日本最大雨量を記録しました。

この大水害を教訓に町の方針として住民の安全と安心を最優先にするため平成9年に多額の予算を投じて「防災行政無線」を整備し、各家庭に個別受信機を設置いたしました。

この度、長崎市では今ある防災行政無線をアナログ式から、デジタル式に更新しようとされていますが、更新後も個別受信機を撤去することなく、今までどおり地域住民の安全・安心を守るため、継続して設置していただき、琴海地区住民がこれからも安心して安全に暮らせるように、琴海地区住民の総意として請願いたします。

2、請願理由

昭和57年7月23日に「長崎大水害」が発生し、琴海長浦岳で1時間降雨量153m/mの日本最大雨量を記録しました。これにより琴海地区も80億円にもおよぶ甚大な被害を受けました。しかし、一人の犠牲者も出なかったことは不幸中の幸いでした。また、丁度その時、町内全域に農事無線（屋外のマスト）を整備したばかりで、情報伝達に大きな威力を発揮しました。

しかし、7・23大水害の反省の中で、雨の音、窓を閉め切っていて放送の内容が良く分からないとの意見が多く出されました。そこで災害に備えるため、住民の安全、安心を第一に、どう対応すればよいのか議会、自治会などで時間をかけて検討が重ねられました。その結果、早く確実に将来にわたって情報を



伝達できるのは個別受信機の設置が最有効との結論に達しました。

これを受けて平成9年に防災行政無線を整備し、台風、豪雨、地震、火災等の非常時に、いち早く確実に各家庭へ情報の伝達が行われるようになりました。

また、防災だけでなく、行政の連絡としても火災予防運動、交通安全運動、環境週間、こどもの予防接種、各種の住民健診、熱中症やインフルエンザ対策、市・町の行事、花まつり、夏まつり、ふるさと祭り、どんぐり祭り、自治会からのお知らせなど毎日のように定時的に放送することで、住民へ確実に情報伝達が行なわれることにより、地域コミュニティの醸成を推進し、自治会加入者も未加入者へも等しく情報が伝達され、行政と住民の意思の疎通が高められているところです。

この個別受信機を撤去されれば、地域住民への情報伝達手段はなくなり、住民の安全・安心は確保できなくなることが想定されます。

よって、琴海地区防災行政無線個別受信機を撤去することなく、機種を更新を実施していただくようお願いします。

紹介議員

舟熊 政直



奥村 修計



内田 隆莫



五輪 清隆



相川 和彦



林 広文



橋 幸 剛

